

2017年9月28日

ジェットスター・ジャパン株式会社

ジェットスター・ジャパン、ピンクリボン運動月間に合わせて 募金活動を実施

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優、以下、ジェットスター・ジャパン)は、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の推進などを目的に世界規模で実施する啓発キャンペーン「ピンクリボン運動」に賛同し、10月1日から1ヶ月間、機内で募金活動を実施します。ジェットスター・ジャパンとしてピンクリボン運動活動を行うのは、昨年に続いて2回目となります。

ピンクリボン運動実施期間中の主な活動として、500円(一口)寄付していただいたお客様にジェットスターピンクリボンキャンペーン特製ピンバッジを進呈します。また、ピンクリボン運動の啓発を目的に作成された特製ブローチャーを、ジェットスター・ジャパンが保有する21機の航空機(座席数:3,780)全ての機内に搭載するほか、機内アナウンスと併せて乳がんに対する正しい知識の向上や乳がん検診の推進などを呼びかけます。さらに、本活動に賛同するパイロットは、期間中ピンクの線が入った肩章を着用します。

なお、募金活動を通じて集まった寄付金は、昨年に続き認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)に寄付する予定です。

ジェットスター・ジャパンでは、公共交通機関として、より良い社会の実現に向けてさまざまな社会貢献活動にも高い関心を持って日々取り組んでいます。ジェットスター・ジャパンは、ピンクリボン運動の啓発活動を通じて乳がん予防運動の支援や検診を推進すると同時に、女性やそのご家族のクオリティーオブライフをより高められるよう継続してピンクリボン運動を応援してまいります。



2017 オリジナルピンバッジ



シートポケットに搭載する
機内ブローチャー



ピンクリボン運動啓発活動用
パイロット肩章

【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より東京（成田）、大阪（関西）、札幌（新千歳）、福岡、沖縄（那覇）に就航し日本国内線の運航を開始しました。その後、名古屋（中部）、大分、鹿児島、松山、高松、熊本へと国内の就航地を広げたのち、2015年2月の香港線の開設を皮切りに同年11月の台北線、2016年3月のマニラ線、2017年6月の上海線と国際路線網を拡充しています。また、2017年12月に初の成田と宮崎を結ぶ定期運航便を就航します。現在、国内最大のLCCとして国内16路線、国際9路線を21機のエアバスA320型機（180人）で1日約100便を運航しており、就航から5年で2,100万人以上のお客様にご利用いただいています。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。<http://www.jetstar.com>

【J. POSHについて】

乳がんの正しい知識や乳がん検査の普及などの活動を目的として、2002年に設立された認定NPO法人。啓発活動のほか、ピンクリボン運動団体や個人活動家への支援、患者のお子さんへの奨学金の運用など様々な活動を行っています。<http://www.j-posh.com/>